

## ボランティア活動の心得

### I 活動日

- 1 活動を約束した日・時間は必ず守るよう努力し、やむを得ず休む場合は必ず責任者に連絡しましょう。
- 2 活動日時・時間・活動内容及び連絡事項等をボランティア活動報告書に記入しましょう。

### II 活動時

- 1 活動は、活動する部署の方針に従い、指示のとおり活動しましょう。
- 2 ボランティア活動中、見聞きしたことを決して他へ漏らさないようにしましょう。
- 3 患者さんに対しては平等に接し、特別に親しい患者さんをつくらないようにしましょう。
- 4 患者さんから病状・診断について尋ねられたり、売店等で物品の購入を依頼されたときは、責任者に相談しましょう。
- 5 患者さんの病状記録を読んだり、診断・治療などに意見をはさんだり、患者さんの診断内容について尋ねないようにしましょう。
- 6 薬や物品、思想、宗教などを患者さんに勧めたりしないようにしましょう。
- 7 患者さん、または患者さんの家族に贈り物をしたり受け取ったりしないようにしましょう。
- 8 活動中、患者さんに自分の健康状態を訴えたり、薬を貰ったりしないようにしましょう。
- 9 職員の仕事や責任体制についてよく理解し、患者さんの前で職員の批判はしないようにしましょう。
- 10 病院内の配置図、病棟編成、面会時間、注意事項等は事前に知っておきましょう。
- 11 判断のつきにくいものは、必ず担当職員に聞いてからおこないましょう。
- 12 患者さんに対しては、相手を思いやる暖かい心を持って話しかけるように心がけましょう。

### III 服装態度

- 1 清潔な動きやすい服装の上にユニフォームを着用、活動許可証を胸につけ、靴は音のしない、カカトの低い活動しやすいものを履きましょう。
- 2 爪は短く、香水、アクセサリ、マニキュア等は控えめにしましょう。

#### IV 健康管理

- 1 活動の前後に手を洗い、うがい等を励行、自分自身の健康に十分気をつけましょう。
- 2 活動中にケガをしたり、気分が悪くなったりした場合は遠慮なく責任者に申し出ましょう。
- 3 健康診断は年1回受けましょう。